



## 琵琶湖・瀬田川の水質概況速報(平成 24 年度(2012 年度)第 3 四半期)

琵琶湖環境科学研究センターでは、水質汚濁防止法第 16 条の規定に基づき作成した公共用水域水質測定計画等に基づき、琵琶湖および瀬田川で採水、水質分析を実施しています。このたび、平成 24 年度第 3 四半期分について水質概況速報がまとまりましたので報告します。

なお、琵琶湖・瀬田川水質は、年間を通した解析により正式な評価を行うため、ここで公開する速報値が、後日、修正を加えられる可能性があることをご了承ください。

### ◎調査方法について

北湖 28 地点、南湖 19 地点、瀬田川 2 地点の計 49 地点において、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、(独)水資源機構および当センターで協力、分担し表層 0.5mでの毎月の水質変動を調査しています。

また、琵琶湖の北湖深層部における水深別調査は、当センターでは今津港と長浜港を結ぶ線上のほぼ中央の水深約 90m地点今津沖中央(通称「17B」)において、月 2 回実施しています。



### ◎調査結果について

琵琶湖北湖の代表点として 17B、南湖の代表点として唐崎沖中央(6B)のそれぞれの経月変化からみる平成 24 年度第 3 四半期までの水質概況は次のとおりです。

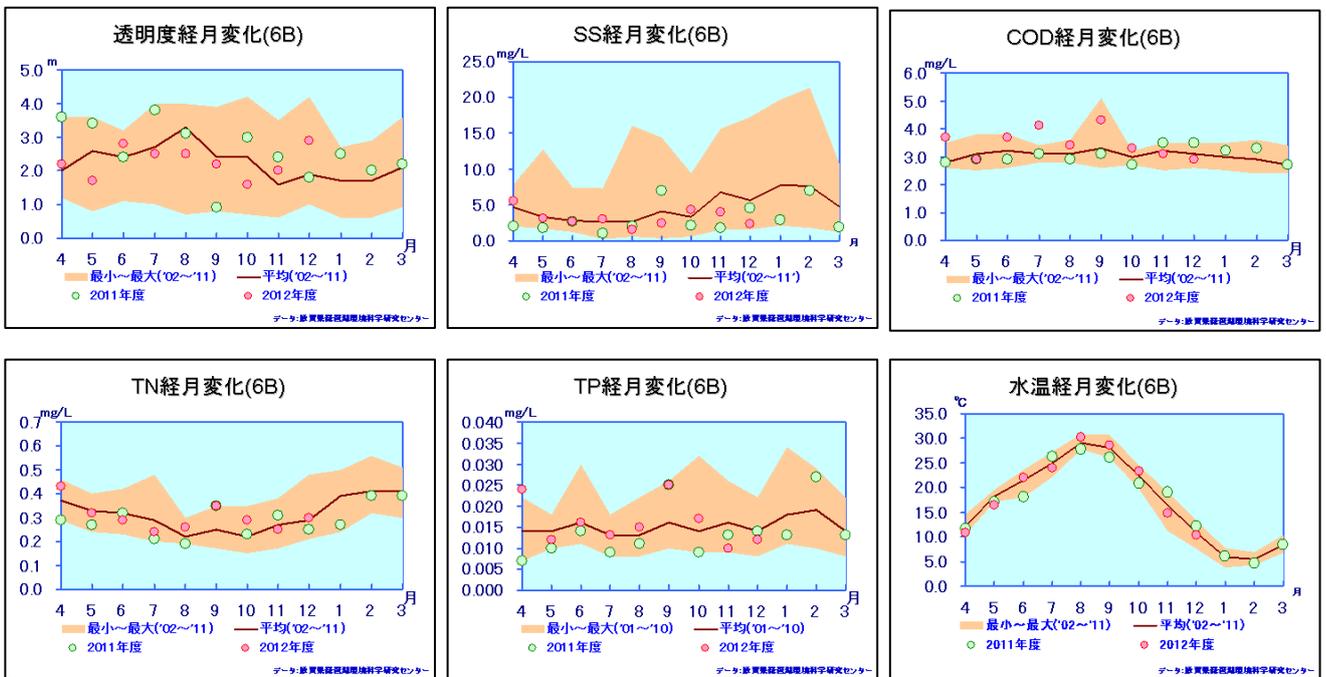
#### ○ 唐崎沖中央調査結果

透明度については、10 月は概ね過年度(過去 10 年間)平均値より低い値を示しましたが、11 月は過年度並の値となり、12 月は過年度より高い値となりました。透明度に影響を与える浮遊物質(SS)の推移を見ると、10 月は過年度より高く、11 月、12 月は過年度より低い値でした。このことから SS が低下したことにより透明度が上昇したのと考えられます。

有機物汚濁の指標である化学的酸素要求量(COD)については、10 月が過年度平均値より高い値を示しました。11 月は過年度並の値になり、12 月には過年度よりも低い値を示しました。

富栄養化項目である全窒素(TN)は、10 月は過年度より高い値となりましたが、11 月、12 月は過年度平均値並の値となりました。全りん(TP)は、10 月は過年度より高い値となりましたが、11 月、12 月は過年度平均値よりも低い値となりました。

水温は、10 月は平均値よりも高い値でしたが、11 月は過年度平均値よりも低い値となり、12 月は過年度平均値並の値でした。



○ 今津沖中央調査結果

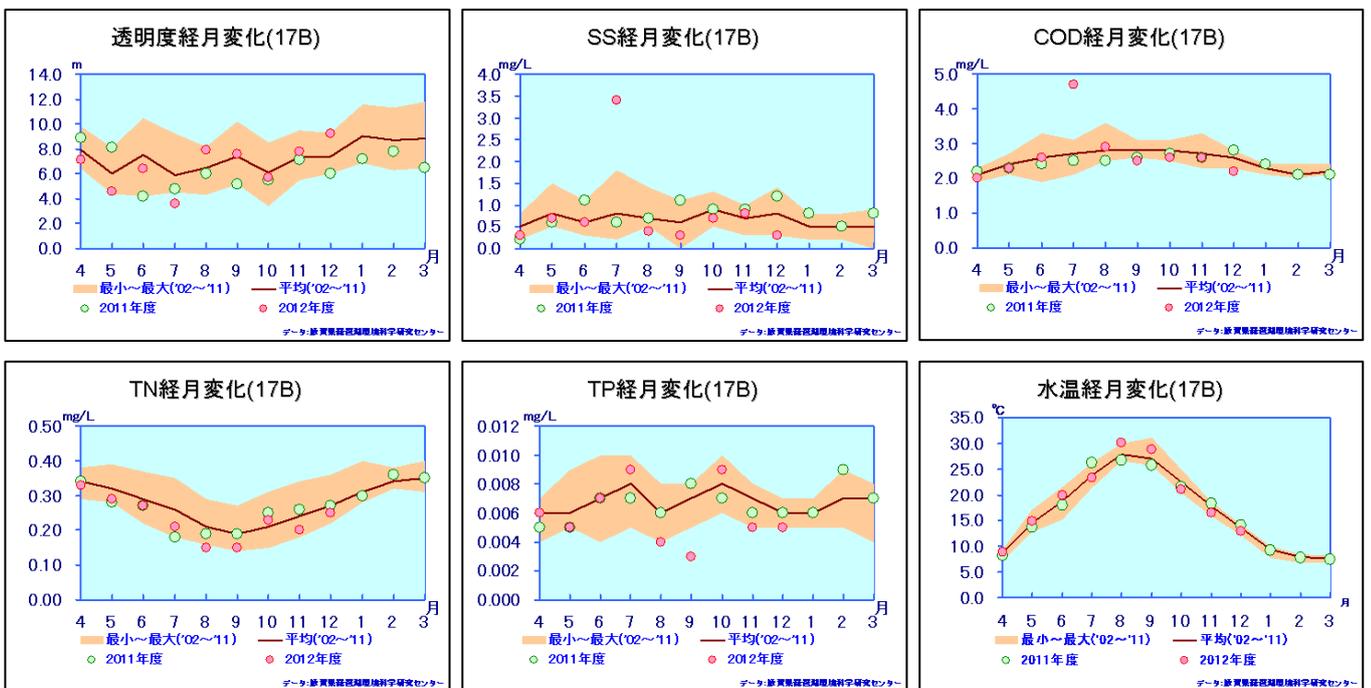
透明度については、10月、11月は過年度平均値並の値となりました。12月は過年度平均値よりも高い値で推移しました。透明度に影響を与える浮遊物質量(SS)の推移を見ると、透明度が上昇した12月に過年度平均値よりも低い値を示しました。このことからSSが低下したことにより透明度が上昇したものと考えられます。

CODについては10月から12月にかけて過年度平均値よりも低い値を示しました。

全窒素は、10月は過年度平均値よりもやや高く、11月は過年度平均値よりもやや低く、12月は過年度平均値並の値でした。

また、全りんは、10月は過年度平均値より高めの値で、11月、12月は過年度平均値よりも低い値となりました。

水温は、10月、11月は過年度平均値よりも低く、12月は過年度平均値並の値でした。



《問い合わせ先》

〒520-0022 大津市柳が崎 5-34

滋賀県琵琶湖環境科学センター

環境監視部門 公共用水域担当

TEL:077-526-4255 FAX:077-526-4803

E-mail: [dc31400@pref.shiga.lg.jp](mailto:dc31400@pref.shiga.lg.jp)